

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	9	(4)自然と共生するうおいあるまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	20	川が汚れておらず、魚がいて、川遊びができるような環境がある。
	20	②美しい川の環境を維持する			

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(5)評価責任者職名	建設部長
------------	------

(6)評価責任者氏名	中森 寛
------------	------

(7)評価者	島ヶ原支所長、大山田支所長
--------	---------------

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	1次評価結果										
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
												(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		

2次評価										(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて			

継続	400	臨時河川等整備事業	190500	建設部道路河川課	33,900	22,500	15,000	0.5	3,600	実施した箇所数	4	2	件	Ⅲ	4	3	3	3	A	現状維持
継続	731	臨時河川等整備事業	603500	島ヶ原支所産業建設課	2,785	2,000	3,000	0.8	5,760	河川数	1	1	河川	Ⅲ	4	4	4	3	A	拡大
継続	915	臨時河川等整備事業	703500	大山田支所産業建設課	692	1,500	1,500	0.2	1,152	実施した箇所数	2	3	件	Ⅲ	4	3	3	4	A	現状維持

無	—	—	無	—	1G	b	良好な河川環境を保全する必要がある。	—
有	有効性を4⇒3に方向性を拡大⇒現状維持に修正	農地部の河川のため有効性に乏しい	無	—	1G	b	良好な河川環境を保全する必要がある。	—
無	—	—	無	—	1G	b	良好な河川環境を保全する必要がある。	—